



大阪広域NEWS

Vol.3

発行

大阪広域生コンクリート協同組合

〒541-0048 大阪市中央区瓦町2丁目4番7号

新瓦町ビル5階

TEL.06-6222-5661 FAX.06-6222-5662

www.osaka-kouiki.or.jp



命を守るコンクリート
コンクリート

明日の大阪のために...

通常総会開催

2017年6月19日(月)

リーガロイヤルホテル

新規加入・拡大で、さらなる発展に期待

平成29年6月19日(月)15時より、大阪市北区・リーガロイヤルホテル・山楽の間において当協組の第23回通常総会が開催された。

本総会の議案は、平成28年度事業報告並びに決算書類承認の件、平成29年度修正収支予算案承認の件、平成29年度役員報酬限度額承認の件、平成29年度借入金金の最高限度額並びに1組員に対する貸付限度額承認の件、決議文採択の件、出荷調整金に関する件、平成29年度構造改善・集約廃棄幹旋事業(廃棄事業)の経費の額、案審議が進められた。



議案審議

第1号議案

平成28年度事業報告並びに決算書類承認の件

事業活動における般状況、生コンクリート業界の状況にふれた後、

1 共同販売事業

平成28年4月及び5月は、旧広域社だけの共同販売事業を行い、新規加入社を含めた広域協組全体(組合員数105社125工場)での共同販売事業は、平成28年6月1日より開始。

(1) 売上状況

共同販売出荷総額
金額 7,383,352万円
平均価格 14,592円/m³
(前年比1714円/m³)

2 構造改善・集約廃棄幹旋事業

本年度も持続可能な協同組合を確立するため、平成28年度実施要項に則り、構造改善事業を継続的に進めた。本年度の事業として下記を認めた。

(1) 協業事業
(2) 平成21年度の支援金残金一括支払
(3) 共同金融事業

平成27年7月より実施している転貸融資を本年度も継続して実施。当期末現在の貸付残高は15億6,100万円となる。

4 教育及び情報の提供に関する事業
品質管理及び技術向上の徹底、情報の提供

5 リサイクルコンクリート、再生コンクリート事業
資源循環型社会を視野に入れ、フライアッシュや回収水等のリサイクル材の使用を推進し、大阪兵庫生コンクリート工業組合の「回収骨材の有効利用」及び「銅スラグ骨材材の活用に関する調査研究」ワーキンググループに積極的に参加。

6 新技術による需要創出
大阪兵庫生コンクリート工業組合の「コンクリート舗装の調査及び普及促進」ワーキンググループに委員として参加し、早期交通開放型コンクリート(「DAY PAVE」)の室内実験を実施し、基本配合について検討した。また、同コンクリートの需要拡大に向けたPR活動に協力。

7 広報活動の充実
一般紙及び業界紙にPR広告を掲載することに加え、平成28年11月より「大阪広域NEWS」を当協組独自で作成、発行することにより協組内部の一体感の強化及び外部からの信頼感の醸成に努めた。尚、「大阪広域NEWS」は、3ヶ月毎に年4回の発行を予定。

8 CSR活動(企業の社会的責任)への取り組み
(1) 広報活動と社会貢献を兼ねて、第10回未来の大阪を描こう!!絵画コンクール(産経新聞社共催、大阪府・大阪市、各教育委員会後援)を実施
(2) 京都大学IPS細胞研究基金、大阪府福祉基金への寄付
(3) 淀川寛平マラソン2017(東日本大震災・熊本地震被災地支援)へ協賛
(4) 組合員及び登録販売店と反社会的勢力排除に関する覚書を締結した。また、公益財団法人大阪府暴力追放推進センター賛助会員に加盟。大阪府警とも連携をとりながら反社会的勢力排除に努めている。

9 係争問題の解決
ミトミ建材の裁判、第2審判決(平成28年6月23日)敗訴。連帯労組外不当労働行為救済申立事件は、年度内解決に至らず次年度持ち越しとなった。

10 会社整理による精算
11 品質保証積立金・特別事業積立金
12 出資金の増資
13 預託手形の廃止と返却
14 資金の借入れその他の資金調達状況
15 直前3事業年度の財産及び損益の状況

以上について、満場一致で可決された。

第2号議案
平成29年度修正収支予算案承認の件
平成29年3月29日開催の臨時総会にて承認された内容から以下の部分を変更したので上程された。

Ⅰ 収入の部
1 事業収益の部
2 共同金融事業収益
受取利息 1,000万円
3 債務保証事業収益
手数料 45万円
(3,000万円×30件×0.05%)
Ⅱ 賦課金等収入の部
(3) 参事出向手当受入
7,800万円(5万円×12ヶ月×130工場)
Ⅲ 支出の部
Ⅳ 一般管理費の部

第3号議案
平成29年度役員報酬限度額承認の件
役員報酬限度額を年間総額2,000万円とする。この範囲内にて個別の役員報酬額について、報酬委員会(運営会議)で変更することができるとが上程され、満場一致で可決された。

1 人件費
(2) 給料手当 8,000万円
(職員給与手当)
(4) 賞与 2,000万円(職員)
(6) 出向参事手当2億1,600万円
(出向参事手当金60人×30万円)
(8) 福利厚生費 950万円
(組合員・出向参事・職員の慶弔関係費、女子制服等)

2 業務費
(3) 通信費 3,000万円
(通信費、郵便代)

(6) 事務所費 600万円
(清掃費等)

(11) 保険料 1,660万円
(運送保険料等)

(14) 賃賃料 4,500万円
(事務所、車庫賃賃料)

(16) 減価償却費 8,000万円
(リース資産償却等)

Ⅶ 税金等
法人税等 4,618万2千円

以上について、満場一致で可決された。

第4号議案
平成29年度借入金金の最高限度額並びに1組員に対する貸付限度額承認の件
(1) 借入金金の最高限度額は、次の金額とする。
200億円
(2) 1組員に対する貸付限度額は、次の金額とする。
※ 債務の保証事業を含む
出資金(工場当りの払い込み出資金(重入金))

明日の大阪のために...

1、000万円の場合
1工場当り 1億円
出資金(1工場当りの払い込み出資金
500万円以上、1,000万円
未満の場合
1工場当り 5、000万円
出資金(1工場当りの払い込み出資金
500万円未満の場合
1工場当り 3、000万円

同 西原武淳
(株)サンコー代表取締役
同 上田智之
(株)上田組 代表取締役
同 淡路フロッグ
(株)森本照彦 代表取締役
同 熊手輝秀
(福井生コン)代表取締役

第5号議案 決議文採択の件

第23回通常総会決議の決議文(案)が上程され、満場一致で採択された。

第6号議案 出荷調整金に関する件

現在は、4ヶ月毎に金銭調整を行っているが、組合員数の増加に伴って調整する金額が増加したため3ヶ月毎に金銭調整することにした。

が上程され、満場一致で可決された。

第7号議案 平成29年度構造改善・集約廃棄物処理事業(廃棄事業)の経費の額、その徴収時期及び徴収方法に関する件

が上程され、満場一致で可決された。

第8号議案 役員(理事)補充選任の件

役員候補者名簿(案)
ハ神戸ブロック
理事 仁木吉光
(株)神戸生コン代表取締役
同 田口淳
(株)明神コーポレーション代表取締役
同 溝尾廣治郎
(株)尾山生コン第二工場代表取締役

第9号議案 定款一部変更の件

が左記の通り上程され、満場一致で可決された。
定款第27条(理事長、副理事長、専務理事及び常務理事の選出並びに代表理事の職務等)を下記のとおり変更する。

(新) 第27条 理事のうち1人を理事長、5人又は6人を副理事長、1人を専務理事、7人以上10人以内を常務理事とし、理事会において選定する。

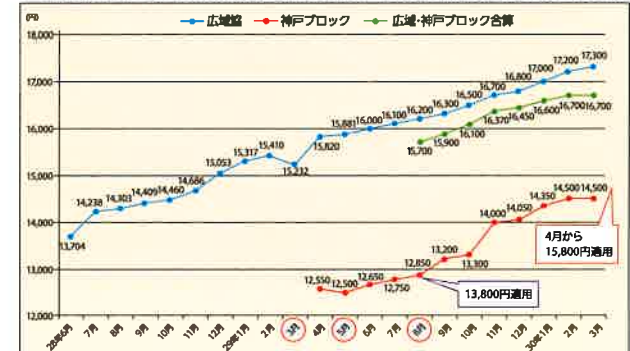
第27条 理事のうち1人を理事長、4人又は5人を副理事長、1人を専務理事、6人以上8人以内を常務理事とし、理事会において選定する。

以上、9つの議案が審議され、満場一致で採択された。

事業内容報告

その後、平成29年度以降の事業内容報告が行われた。
まずは協組の「今期の全体スケジュール」、「需要想定(工組資料)」、「平成28年6月の共販開始以降の平均単価の推移及び動向」などが示

■平成28年6月の共販開始以降の平均単価の推移及び動向



続いて、技術部・総務部・企画部から、今後の方針等の報告があった。

技術部

今後の方針
○神戸ブロックについて
・平成29年8月1日までに広域の納入書(伝票)に統一
・平成29年10月1日に標準配合を広域基準配合に統一
○マル適マークの推奨
・マル適の取得を推進し、JIS改正及び商品の多様化への対応に取組み、品質の向上と安定に努める
○工場災害ゼロ
・教育研修委員会主催の安全講習会を継続実施する
○大臣認定の推進
○工場能力調査項目の見直し

総務部

1. 平成29年度の金融政策について
(1) 転貸融資
(上期及び下期1年返済)
貸付金額2、000万円/工場
利率1・6%
(2) 工場目録の場合は1・725%
貸付実効日

された。

へ上期、平成29年7月5日(火)
へ下期、平成29年12月5日(火)
(2) コミュニティ融資(5年返済)
貸付金額3、000万円/社
利率1・95%+0・05%+2%
貸付予定平成29年7月中旬頃
から随時
2. 過年度の経理処理に関する問題について

それら報告の後、平成29年4月1日より、1事故あたりの保証限度額10億円の損害賠償保険に切り替えを行ったことに伴い、現行の品質保証積立金の見直しを実施することの報告があった。
品質保証積立金の見直しについて
○本年12月より、組合員各社の積立金を500万円とする。
○すでに500万円を超えている組合員へは、本年12月末までに超過額(総額約13億円)を返金する。
○現行500万円に達していない組合員は、平成30年3月末までに500万円を積み立ていただく。(予定)

以上



懇親会

通常総会終了後、会場を同ホテル「光琳の間」に移し、親睦会が開催。お取引様関係をはじめ、大阪府、建設・土木各業界団体代表、そして組合員・家族まで総勢約370人が一堂に会し、協組総会では初めての着席フルコースディナーを楽しみながらの宴席となった。
ジャズのライブ演奏なども行われる中、和やかに相互の親睦がはかれ、大阪広域生コンクリート協同組合のこれからの発展を予感させる時間が流れた。



フレスコ画の巨匠、絹谷幸二先生と木村貴洋理事長が対談

世界的に有名なフレスコ(フレスコ画)画家、絹谷幸二さんと、ツバの壁画や天井画で用いられる当協組の木村貴洋理事長との対談が、5月10日、大阪市北区の絹谷幸二天空美術館(梅田スカイビル)で行われた。
協組が産経新聞社と共催している「未来の街を描こう!! 絵画コンクール」の審査員に、この度絹谷先生に就任していただいたことを記念して実現したこの対談。絹谷先生の苦心や次代の子どもの未来まで、木村理事長と話の弾は、6月17日の産経新聞に掲載された。
絹谷先生の作品は、絹谷幸二天空美術館で常設展示されているので、生コンクリートと非常に身近な絵画を是非とも一度、鑑賞していただきたい。



■絹谷幸二 天空美術館
大阪府大阪市北区 大淀中 1-1-30
梅田スカイビル タワーウエスト 27 階
TEL 06-6440-3760 (火曜日休館)
ホームページ: www.kinutani-tenku.jp

